

2022年8月号

JTCC ニュース (一社) 日本繊維技術士センターニュース

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維JTCC」で検索できます。

< JTCC開催講座のご案内 >

(対面講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が37.5以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

◆JTCCの「知っておきたい繊維産業資材の基礎と用途展開」講座(オンライン)

開催日: 2022年 9月3日、10日 (9時30分~16時50分)

月日	時間	テーマ	講師
9月3日 (土)	9:30~10:40 (70)	繊維産業資材の基礎と用途展開総論 : 繊維産業資材の特徴、繊維産業資材の発展の経緯、産業資材用繊維の今後の発展の方向	西中久雄 (元 東洋紡)
	10:50~12:00 (70)	生分解性繊維 : ポリマー原料、主にポリ乳酸繊維の製法、特徴、用途展開、その他の生分解性合成繊維	松永伸洋 (元 ユニチカ)
	13:00~14:10 (70)	ナノファイバー : ナノファイバーの定義と特有の性能、製造技術、用途展開と市場予測	八木健吉 (元 東レ)
	14:20~15:30 (70)	アラミド繊維 : 安全・安心・防護分野およびスチールやアスベスト代替分野への展開が進むアラミド繊維、その製法・特性・用途展開状況	村山定光 (元 帝人)
	15:40~16:50 (70)	炭素繊維 : 炭素繊維の種類、製造方法、各種二次製品、物理的・化学的特徴、用途展開	井塚淑夫 (元 東レ)
9月10日 (土)	9:30~10:40 (70)	織物・編物・組み布 : 中間繊維基材の定義、各種中間基材の形状的分类、1軸基材、平面状基材、円筒状基材、3次元基材	中川建次 (元 東洋紡)
	10:50~12:00 (70)	不織布 : 製法・用途および統計を用いた業界の現状と今後の展開	北洞俊明 (元 東洋紡)
	13:00~14:10 (70)	高機能加工製品 : コーティング、ラミネート、各種の非水系加工技術および適用製品	嶋田幸二郎 (元 帝人)
	14:20~15:30 (70)	複合材料 : 定義、歴史、補強繊維、マトリックス、成形法、性能、将来の動向	高田忠彦 (元 帝人)
	15:40~16:50 (70)	スポーツ・レジャー : 種類、必要特性および生産・商品開発	清嶋展弘 (元 デサント)

受講料金 24,000円 (JTCC 会員及び賛助会員は、20,000円)

定員 100名

申込期限 2022年8月13日(土)

詳細は、添付資料を参照してください。

申し込みの詳細は、JTCC ホームページをご覧ください。

◆JTCCの「知っておきたいアパレル製品の基礎知識」講座(オンライン)

Pert I、II のご案内

アパレルビジネスを行う上で、必要な技術的基礎知識を習得して頂きます。内容が豊富なため2回に分けて講座を開催します。Pert I と Pert II を受講して頂いて完成します。

Pert I

アパレルに用いられる材料や試験方法、材料に関するトラブルと解決方法について解説します。

(開催日時は、2022年10月8日(土)、15日(土) 録画配信:10月18日(火)、25日(火))

Pert II

アパレル製品の企画、アパレル生産に関して設備や縫製技術、縫製工場の管理方法、アパレルに関する表示、縫製や表示に関するトラブルと解決方法について解説します。(開催日時は 2023年2月を予定しています。)

Pert I 講座の案内

開催日時:2022年10月8日(録画は18日)、15日(録画は25日)、(10時~17時)

受講料:20,000円 定員:100名

申込期間: 8月1日~9月22日

詳細内容は、7月20日以降の JTCCホームページに掲載します。案内書は7月に発効します。

日程	内容	時刻	時間(分)
1日目 10月8日(土) 録画配信 10月18日(火)	挨拶	10時~	10
	I. アパレル製品の生産と流通	10時10分~	50
	II. アパレル用繊維の種類と特徴	11時~	60
	III. アパレル用生地(織物・編物)の種類と製造	13時~	120
	IV. アパレル用芯地、裏地の種類と特徴	15時~	60
2日目 10月15日(土) 録画配信 10月25日(火)	V. アパレル用副材料:レース、テープ、ボタン、ファスナー、織ネーム	16時~	60
	VI. 繊維の染色と加工(浸染・捺染・加工)	10時~	120
	VII. 繊維の試験方法(物性、堅牢度、安全性)	13時~	60
	VIII. 繊維の機能性と試験	14時~	60
	IX. 消費者トラブルと対応策	15時10分~17時	(110)
	X-1 堅牢度	15時10分~	30
	X-2 ピリング	15時40分~	30
	X-3 ポリウレタンの脆化	16時10分~	30
X-4 生地強度(引っ張り、摩耗、破裂など)	16時30分~	30	

◆JTCC「公開講演会」

(詳細、参加申し込みはJTCCホームページをご覧ください。)

名称	内容(講師)	日時	会場
第89回	講演1. 技術者倫理の実践—組織における技術者のあり方— 大阪大学非常勤講師 元新日本理化 伊藤 博氏(化学部門)	9月17日 (土)	オンライン or ハイブリッド
	講演2. 睡眠の質と寝具・寝環境~スリープテック®の動き~ JTCC 理事 元帝人 元西川産業 中村 勤氏(繊維部門)		
第90回	講演1. 「JUKIのIoT」(仮題) JUKI販売(株) 修理翔太氏	12月10日 (土)	オンライン 予定
	講演2. 透湿防水加工(仮題) JTCC 元東レコーテックス 上本雅則氏		

公開講演会の参加費(税込み): 2000円 オンラインの場合「資料のみ」の参加は不可です。

企業紹介

(一般社団法人) 繊維学会誌

The poster is divided into two columns. The left column is for the 51st Summer Seminar, and the right column is for the Autumn Research Symposium. Both events are hybrid and will be held in a hybrid format. The Summer Seminar is on August 30-31, 2022, at the Fukui Prefectural Fiber Association Building. The Autumn Research Symposium is on November 9-10, 2022, at the Tori-gin Cultural Center (Ikaruga). Registration for the Summer Seminar is closed by August 19, and for the Autumn Research Symposium by October 31.

一般社団法人
繊維学会
THE SOCIETY OF FIBER SCIENCE AND TECHNOLOGY, JAPAN

2022年度 第51回
夏季セミナー
～持続可能な社会へ向けた
次世代繊維技術の新たな可能性～
2022年 8月30日(火)・31日(水)
ハイブリッド開催
会場：福井県繊維協ビル
参加登録は 8月19日(金) まで!!

2022年度
秋季研究発表会
2022年 11月9日(水)・10日(木)
ハイブリッド開催
会場：とりぎん文化会館 (鳥取)
参加登録は 10月31日(月) まで!!

第51回夏季セミナーでは、特別講演2件と6つの分科会セッションを企画中、秋季研究発表会では、特別講演3件と研究発表（口頭発表、ポスターセッション）を予定しております。詳細は繊維学会HPよりご覧いただけます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。
繊維学会HP：<https://www.fiber.or.jp/jpn/index.html>

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

・7月号の情報発信追加

2022年5月2日

「ファッションの未来に関する報告書」が報告されている。

検索方法

経済産業省生活用品課 → 政策について → ニュース一覧 → ものづくり／情報／流通・サービス
→ 2022年5月2日 「ファッションの未来に関する報告書」

2. 環境省

・新着情報なし

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●日本化学繊維協会（詳細は化繊協会のホームページ参照してください）

華峰集団、米 DuPont の PTT 事業を買収 2022年6月

6月1日、中国の大手スパンデックス繊維メーカー華峰集団(Huafon Group)は米 DuPont Biomaterials を買収、

新会社 Covation Biomaterials(本社デラウェア州 Newark)を発足した。買収額は非公表。

対象事業は PTT ポリマー Sorona や植物由来原料の 1,3-プロパンジオール(PDO)事業、PDO の化粧品向けブランド「Zemea」、ポリウレタンやインク向け PDO ブランド「Susterra」など。いずれも製造工場を含む。Sorona はノースカロライナ州、PDO はテネシー州の工場で生産している。

Sorona は弾力性やストレッチ性が特徴の繊維向けが主力であり、カーペットや衣料品、中綿といった用途に用いられる。

●日本綿業振興会（詳細はホームページ参照）

- ・ 新情報なし

●日本染色協会（詳細はホームページ参照）

- ・ 新情報なし

3. (一社)日本衣料管理協会、(一社)繊維評価技術協議会(織技協)

●(一社)日本衣料管理協会

2021年6月18日

「TES 品質情報展」開催のお知らせ新型コロナウイルスの感染拡大により開催を延期しておりました

日本衣料管理協会創立 50 周年記念事業「TES 品質情報展」を下記日程で開催いたします。

- ・9月17日(土) 中国支部
- ・10月15日(土) 中部支部
- ・11月5日(土) 北陸支部
- ・11月11日(金) 西日本支部

「TES 品質情報展」の詳細は、夏ごろにお知らせする予定です。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、開催日程を変更する場合がございます。

●(一社)繊維評価技術協議会(織技協)

- ・ ISO4333 : 「繊維製品上の花粉やダニ由来タンパク質等の減少度測定方法」が発行されました。
ISO/TC38/WG23

“(一社)繊維評価技術協議会及び(一財)日本繊維製品品質技術センターが共同で開発しました。”

●関西ファッション連合

- ・ 新着情報なし



抗ウイルス HEPAフィルタ搭載 折畳み式陰圧ブース

特長

- ベッドなどを陰圧ブースで囲い、汚染物質の拡散リスクを低減
- ブース内の陰圧度をチェックする差圧計付
- 不要な時は折畳んで収納が可能
- 用途に合わせて3サイズを品揃え(長さ×幅×高さ)
 - ① 1785mm×1785mm×2320mm
 - ② 2400mm×2400mm×2320mm
 - ③ 3005mm×3005mm×2320mm

折り畳んでコンパクトに収納
収納バック付き

陰圧排気/空気清浄機ユニット

病室・隔離室など

アタッチメント

排気ダクト

ビニールカーテンにアタッチメントを取り付け、陰圧排気ユニットとダクト接続する
[付属品] 陰圧確認用差圧計、フレーム収納バック、排気ダクト

抗ウイルスHEPAフィルタ搭載 室内薄型空気清浄機 へパウォール®

病院に
病室・待合室・受付などの空気清浄に

公共施設に
不特定多数の人が集まる待合室などに

【製品仕様】

形式	PHW-0151-PS			
サイズ(mm) (幅×高さ×奥行)	880×1415×95(キャスター部幅:330)			
設定	弱	中	強	MAX
風量 (m ³ /min)	3	5	7	15
騒音値 (dB)	36	42	47	59
消費電力 (W)	10	20	30	150
質量 (kg)	約37			
電源	AC100V 50/60Hz			

HEPAフィルタの先駆者
NIPPON MUKI

日本無機株式会社 <https://www.nipponmuki.co.jp/>
a member of **DAIKIN** group

TEL:03-6860-7501 E-mail:NMhomepage@nipponmuki.co.jp

Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆<繊維学会誌> 2022年7月号



特集<堅ろう度標準化研究委員会特集>

○「堅ろう度標準化研究委員会」発足にあたって

福井大学 堀 照夫

○学振形摩擦試験機とその国際標準化

スガ試験機(株) 喜多英雄

○耐光試験における新規ブルースケールの開発

朝倉 守、(地独法)東京産技研 小柴多佳子

○窒素酸化物試験における新規標準染色布の開発とISO規格への提案

朝倉 守

<業界マイスターに学ぶ せんい産業資材の基礎知識—15>

○第4編「産業用途への応用」(1)自動車・運輸用途

(一社)日本繊維技術士センター 斎藤磯雄

1. はじめに

2. 自動車産業の概況
3. 自動車に用いられている繊維製品
4. 自動車に用いられている繊維量

5. 自動車用繊維の特徴と技術動向

・タイヤコード、・シートベルト、・エアバック、・ゴムホース・ゴムベルト、・自動車伝道ベルト

6. 自動車技術の発展と繊維技術

<繊維・高分子の測定方法(23)>

○複合材料の繊維—樹脂界面強度評価法

岐阜大学 仲井朝美、海上・港湾・航空技術研究所 松尾 剛、湘南工科大学 幾田信生
(株)UBE 市橋秀樹、(株)メイショウテック 大西正宏、日本大学 上田政人

1. はじめに

2. 種々の界面強度評価法

3. 短繊維埋蔵引張試験機

4. マイクロドロップレット試験法

5. ピンホール式引抜き試験法

<繊維関連の美術館・博物館(16)>

○フュージョンミュージアム～創造性を育むニット博物館 藪田正弘

◆<繊維製品消費科学会誌> 2022年6月号



○ソーイング竹内 SDGsへの取り組み (株)竹内ソーイング 笹倉清明
「消費者を理解する—消費者を守るための知見と取り組み」

○被服消費行動におけるリスク認知 メディア、リスクテラシーの影響に着目して
高崎商科大学 中川由里

○男性はいかにおしゃれを愉しんだか 立命館大学 加茂瑞穂

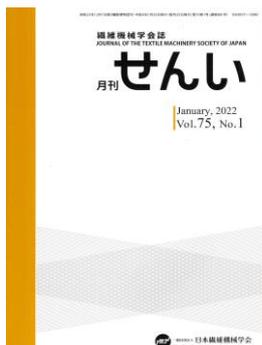
○生分解プラスチックに関する認証制度

(一財)化学物質評価研究機構 菊池貴子

○進化系フェムテックブランド「整」 (株)ナイガイ 土屋聡子

◆<繊維機械学会誌>

「月刊せんい」2022年6月号



○皮脂汚れ由来の不快感に対する防臭加工技術 東レ 主森敬一

1. はじめに ポリエステル繊維に関する抗菌防臭加工

2. 技術のポイント

①不快の原因 ②アプローチ ③SR剤の適正化 ④不快臭原因菌への対応

3. 用途例、高度化

○農業用不織布資材 —その用途と効果について— ユニチカ(株) 権藤壮彦

1. はじめに 農業用不織布は被服資材に多く使用されている。

2. 農業用不織布について

3. 不織布と他資材との特長比較

4. 不織布の農業分野での用途

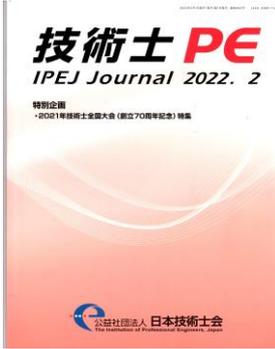
①べたかけ ②ハウスの内張カーテン ③育苗シート ④下敷きシート

⑤底面給水保水シート ⑥根域抑制シート ⑦グラントカバープランツ用シート

⑧植樹ポット ⑨果樹マルチ ⑩遮光・断熱資材 ⑪種まきシート

◆<日本技術士会誌> 「技術士 PE」 2022 年6月号

来月号(9月号)で、6月、7月を報告します。



(月刊誌)

◆<加工技術> 2022 年6月号

- 炭素コンポジットの最新技術動向 (一社)日本繊維技術士センター 井塚淑夫
 - 1. はじめに 2020 年以降の炭素繊維の動向について紹介
 - 2. 炭素繊維および中間基材
 - ①炭素繊維ないし CFRP の特性改善 ②炭素繊維のコストダウン
 - 3. 熱硬化系樹脂使い、CFRP
 - ①短時間硬化樹脂、低温硬化樹脂 ②リサイクルおよび再加工可能な樹脂
 - ③新規硬化系樹脂開発
- スポーツウェアに求められる機能性・快適性 (一社)日本繊維技術士センター 清嶋展弘
 - 8. スポーツ用防寒ウェア ①保温性 ②防水性
- 産業資材を中心とした直近の海外ピックアップ シオタニ&オフィス 代表 故 塩谷 隆
 - 染色・仕上げ技術
- 時空繊維 スポーツシューズあれこれ (一社)日本繊維技術士センター 八木健吉

◆<不織布情報> 2021 年4月号

- 用途特集—衛生材料(メディカル・介護・化粧品雑貨)

◆<新聞、他>

織研新聞

○2022年1月～5月の衣料品の輸入（数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比）

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	558	2,829	301	2,592	859	58.2	5,421	53.5
		▲8.8	6.65	▲4.6	9.9				
2	ベトナム	136	765	58	739	194	13.1	1,504	14.8
		▲10.0	2.9	0.1	13.2				
3	バングラデシュ	99	363	37	325	136	9.2	688	6.8
		11.3	28.5	8.3	35.6				
4	カンボジア	59	240	30	315	89	6.0	555	5.5
		5.6	19.5	▲0.5	25.0				
5	インドネシア	23	148	17	188	40	2.7	336	3.3
		▲24.8	▲13.3	▲19.9	11.5				
6	イタリア	0.1	115	0.1	175	0.1	0.1	290	2.9
		▲0.8	10.1	0.3	12.8				
7	ミャンマー	34	145	33	331	67	4.5	496	5.0
		25.5	53.1	29.2	39.3				
全世界		971	5,028	506	5,104	1477	100	10,132	100
		▲9.5	3.2	▲7.1	7.6				

出所:日本貿易統計

中国はゼロコロナ対策の影響で、輸入が大幅に減少した。
ミャンマー、バングラディシュは引き続き増加傾向である。

○2021年 衣料品の生産と輸出入の推移（単位 百万枚）

年	国内生産量	輸入量	輸出量	国内供給量	輸入浸透率 (%)
2010	167(▼10.2)	3,869(0)	6(10.1)	4,029	96.0
2015	108(▼9.7)	3,697(▼5.6)	6(12.2)	3,800	97.3
2020	81(▼6.4)	3,499(▼10.4)	8(▼8.9)	3,573	97.9
2021	75(▼6.7)	3,576(2.2)	9(8.2)	3,642	98.2

出所:日本繊維輸出組合

- ・輸入浸透率が98%を超えた。
- ・国内は減産するアパレルが増加した。

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、Jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です)

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題, JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:jtccnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、Jtccnews@mbr.nifty.com です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469